

そらこめ通信

No.30 2013.01発行

新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりありがとうございました。今年も、皆様のもとに安全で且つ旨い米をお届けできるよう精いっぱい頑張りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今年2013年の干支は「巳」。過去の巳年に起こった出来事をまとめた人がいて、それらの内容を少し拝借すると、今から108年前の1905年は日露戦争で日本がバルチック艦隊を破った年、次の巳年1917年はロシアで社会主義革命が起き、その次1929年は世界大恐慌、次の1941年は太平洋戦争勃発、1953年はスターリンが死亡、ロシア社会主義の行く末に微妙な影を落とし始めた年、1965年はアメリカによる北ベトナム空爆、1977年は第二次オイルショックによる世界不況、1989年は昭和から平成へ元号が変更、2001年にはアメリカ同時多発テロ・・・というように、世界的な動きの中の「分岐点」と云えるような様々な出来事があったようです。

巳年は「変動の年」である・・・という人もいますが、本当のところは判りません。ただ、一昨年は「東日本大震災」と「原発事故」、昨年は日本を含め世界各地で新しい指導者が誕生するなど、毎年世界のどこかで何かしらの「変動」が起こっているのが現実なのではないでしょうか。

ここ沼田町では、年末年始にかけて猛吹雪と昨年にも増して大雪に見舞われていて、連日除雪に大わらわです。雪国に住む者の定めとはいえ、これらの除排雪を行うにあたり、地方自治体や民間が想像を絶する「コスト」を負担していることを、本州の大都会に住む人の中で、どれくらいの人が理解しているんだろう・・・と思うことが時々あります。春になれば融けて消えてしまう雪ですが、除雪にかかる経済的な負担は計り知れません。

夏の猛暑と冬の大雪・・・。今年はどうなるのかな。楽しみでもあり心配でもある今日この頃です。

昨年12月2日付けの北海道新聞の記事。米の主産地のひとつである新潟県で道内産「ゆめぴりか」が販売されたという内容です。関東圏などでTVコマーシャルが流れることで「ゆめぴりか」の知名度が上がったことは確かですが、販売された場所が新潟県で・・・というところに大きな驚きがありました。



倉庫の周辺をトラクターで除雪する木村社長(12月28日)



くん炭小屋の雪降ろし(12月28日)



もみ殻のくん炭小屋の上に立つ木村社長～結構な雪の量です(12月28日)



本社の玄関に飾られたしめ飾り



倉庫の屋根に安全梯子を設置(12月21日)



トラクターによる除雪作業(12月20日)



本社内の神棚です(12月28日)



倉庫に飾られたしめ飾り(中央)と倉庫内の鏡もち(右)(12月28日)



大雪に見舞われてハウスの雪を降ろす木村社長(左、中央)、右は降ろした雪をトラクターで飛ばす作業です(12月20日)



2013年1月2日の本社前 伊勢神宮にお神酒を奉納している唯一の酒蔵「白鷹」です(1月2日)
 今年は、伊勢神宮における「式年遷宮」の年でもあります。式年遷宮とは飛鳥時代から続く神事で、20年に一度全ての社殿を建て替えて神座を遷す事。宮大工の技術の継承が目的という説もあります。どの業種でも技術の継承は難しいものです。これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

インターネットで美味しいお米♪

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
 ブログ「生産日誌」更新中です